

準備学習ポイント一覧

科目名		臨床薬理学	教員名	幸田幸直	学科/区分	看護 必修	履修年次	1
授業計画	回	授業項目	準備学習キーワード 使用教科書掲載箇所(ページ等)					
	1	薬理学とは	キーワード 薬理学の役割、医薬品の歴史、薬と法律、処方、医薬品の開発 教科書 第1章「総論の①-②、⑩」 1～8、46～52ページ 及び 配布資料					
	2	薬理作用と作用機序	キーワード 薬物受容体、イオンチャネル、酵素、トランスポーター 教科書 第1章「総論の③」 8～20ページ 及び 配布資料					
	3	薬の生体内運命と薬効	キーワード 薬物の投与経路、薬物の血中濃度、薬物の吸収・分布・代謝・排泄 教科書 第1章「総論の④」 21～31ページ 及び 配布資料					
	4	薬物治療に影響する因子(1)	キーワード 相互作用、遺伝的素因、臓器毒性、催奇形性 教科書 第1章「総論の④-⑤」 32～36ページ 及び 配布資料					
	5	薬物治療に影響する因子(2)	キーワード 病態薬理、発達薬理、妊婦授乳婦、高齢者 教科書 第1章「総論の⑥-⑨」 37～45ページ 及び 配布資料					
	6	末梢神経系作用薬	キーワード 交感神経・副交感神経作用薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬 教科書 第2章「末梢神経作用薬」 53～82ページ 及び 配布資料					
	7	中枢神経系作用薬	キーワード 全身麻酔薬、睡眠薬、向精神薬、麻薬性鎮痛薬 教科書 第3章「中枢神経作用薬」 83～122ページ 及び 配布資料					
	8	心・血管系作用薬	キーワード 心臓作用薬、降圧薬、脂質異常治療薬 教科書 第4章「心・血管系作用薬」 123～154ページ 及び 配布資料					
	9	血液・腎臓作用薬	キーワード 抗凝固薬、利尿薬 教科書 第5-6章「血液・造血器系/水・電解質・腎臓作用薬」 155～178ページ 及び 配布資料					
	10	抗感染症薬	キーワード 抗菌薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬 教科書 第7章「抗感染症薬」 179～202ページ 及び 配布資料					
	11	抗悪性腫瘍薬	キーワード 細胞毒性薬、分子標的薬 教科書 第8章「抗悪性腫瘍薬」 203～212ページ 及び 配布資料					
	12	抗炎症薬、免疫関連薬	キーワード 抗炎症薬、抗アレルギー薬、免疫抑制薬、抗リウマチ薬 教科書 第9章「抗炎症薬、免疫関連薬」 213～238ページ 及び 配布資料					
	13	内分泌代謝作用薬	キーワード ホルモン、ホルモン拮抗薬、骨粗鬆症治療薬、痛風治療薬 教科書 第10章「内分泌・代謝作用薬、ビタミン」 239～258ページ 及び 配布資料					
	14	呼吸器用薬、消化器用薬	キーワード 気管支喘息用薬、消化性潰瘍用薬、制吐薬、止痢薬 教科書 第11-12章「呼吸器作用薬/消化器作用薬」 259～280ページ 及び 配布資料					
	15	眼科・皮膚科用薬、消毒薬	キーワード 眼科用薬、皮膚科用薬、消毒薬 教科書 第13-19章「眼科用薬・皮膚科用薬、その他」 281～322ページ 及び 配布資料					
教員からのメッセージ		授業の進度に応じて授業内容が前倒しになることがありますので、次回の授業で触れると考えられる箇所を含めて、少し広めに教科書に目を通してから授業に臨むようにして下さい。プリントを併用しますので活用して下さい。基本的な重要事項は反復して学習しますので、系統的理解に努めて下さい。						